

問1 日本の衆議院比例代表選挙などで採用されている「ドント式」と呼ばれる議席配分の計算方法として正しい説明を選びなさい。 (2022年

新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 各政党の得票数を、1、2、3といった自然数で順に割り、その結果得られた「商」の大きい順に議席を割り当てる。 | 2. 小選挙区で最も得票数の多かった候補者の政党に、その選挙区に割り振られたすべての議席を与える。 | 3. 各政党の得票数をその選挙区の全政党の総得票数で割り、その割合に定数を掛けた数値の整数部分を議席とする。 | 4. 各政党の得票数を、1、3、5といった奇数で順に割り、その結果得られた「商」の大きい順に議席を割り当てる。 |
|--|---|--|---|

問2 「一票の格差」が問題となる背景には、日本国憲法が保障する選挙の原則が関わっています。この問題が否定していると考えられる憲法上の原則として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 有権者が代表者を直接選出し、間接的な手続きを挟まずに意思を反映させるべきだという原則 | 2. 人種、信条、性別、社会的身分、財産などによって差別されず、全ての有権者の投票価値を平等に扱うべきだという原則 | 3. 一定の年齢に達した全ての国民に、納税額などの条件を付けずに選挙権を与えるべきだという原則 | 4. 誰が誰に投票したか分からないようにし、有権者の自由な意思決定を保障すべきだという原則 |
|---|---|---|---|

問3 平等選挙の原則に関連して、現代の日本で解決すべき課題となっている「一票の格差」の内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|---|
| 1. 支持する政党がない有権者が、投票を棄権することで生じる投票率の差のこと | 2. 有権者の性別や職業によって、投票できる場所や時間が制限されること | 3. 選挙区ごとの議員一人あたりの有権者数に差があり、一票が持つ影響力に不平等が生じること | 4. 選挙管理委員会が投票結果を集計する際、無効票の扱いが自治体によって異なること |
|--|-------------------------------------|---|---|

問4 ある国政選挙において、選出される議員がともに1人の「選挙区A」と「選挙区B」があります。選挙区Aの有権者数は10万人、選挙区Bの有権者数は20万人である場合、一票の価値について述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 有権者数が多いほど一票の価値は重くなるため、選挙区Bの方が価値が高い。 | 2. 選出される議員数が同じであれば、有権者数に関わらず一票の価値は等しい。 | 3. 選挙区Bの一票の価値は、選挙区Aに比べて2倍の重みを持つ。 | 4. 選挙区Aの一票の価値は、選挙区Bに比べて2倍の重みを持つ。 |
|--|--|----------------------------------|----------------------------------|

問5 比例代表制のメリットと、それに関連する小選挙区制の課題を組み合わせた説明として、最も適切なものを選択してください。 (2026年

兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 比例代表制は政党の得票率に応じて議席を配分するため、小選挙区制に比べて多様な意見を反映しやすく、死票を減らすことができる。 | 2. 比例代表制は特定の有力な政治家に権力が集中するのを防ぐため、小選挙区制よりも強力なリーダーシップを持つ安定した政権をつくるのに適している。 | 3. 比例代表制は選挙費用を低く抑えることができるため、小選挙区制で課題となっている政治資金の問題を根本から解決できる。 | 4. 比例代表制は各選挙区の代表者を直接選ぶため、小選挙区制で課題となる候補者と有権者の距離の遠さを解消できる。 |
|--|--|--|--|

問6 日本の政党政治の仕組みにおいて、政権を担当していない政党が担う、政府の政策を批判したり監視したりする役割を持つ政党の総称として正しいものを選びなさい。 (2021年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|-------|--------|-------|
| 1. 内閣官房 | 2. 野党 | 3. 審議会 | 4. 与党 |
|---------|-------|--------|-------|

問7 日本の国会議員選挙の実施時期を振り返ると、衆議院議員選挙は2005年から2017年の間に5回行われるなど実施間隔が不規則であるのに対し、参議院議員選挙は3年ごとに定期的に実施されています。このように参議院議員選挙が定期的に行われる理由として、制度上の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 参議院議員は解散によって全員が一度に失職するが、解散から選挙までの期間が法律で3年と固定されているため | 2. 参議院は衆議院よりも任期が4年と短く、解散が行われた場合でも必ず3年以内に選挙を行う規定があるため | 3. 参議院の選挙制度は全国を一つの単位とする比例代表制のみであり、地方自治体の首長選挙と時期を合わせる必要があるため | 4. 参議院には解散がなく、議員の任期が6年で、3年ごとに定数の半分の改選する仕組みとなっているため |
|--|--|---|--|

問8 小選挙区制には「死票」に関する課題があるが、その仕組みと影響について述べたものとして正しいものはどれか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 「死票」とは無効票のことであり、小選挙区制では投票用紙の書き間違いが起りやすいため、死票が大幅に増加する。 | 2. 小選挙区制は多くの議員を選出するため、1票の価値が均等になりやすく、死票による民意の歪みは発生しない。 | 3. 当選者以外の候補者に投じられた票は議席に結びつかない「死票」となり、その割合が他の制度に比べて多くなる。 | 4. 得票率に比例して議席を割り当てるため、落選者に投じられた票も無駄にならず、死票はほとんど発生しない。 |
|--|--|---|---|

問9 選挙区ごとの有権者数の違いにより、議員1人を選出するために必要な票数に差が生じ、国民が持つ一票の政治的な価値が不平等になる問題を何といいますか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|----------|----------|--------|
| 1. 死票 | 2. 一票の格差 | 3. 比例代表制 | 4. 連座制 |
|-------|----------|----------|--------|

問10 衆議院と参議院の選挙制度を比較したとき、参議院議員選挙の比例代表制のみに見られる特徴を説明したものを選びなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|------------------------------------|--|--|
| 1. 小選挙区制と同時に実施され、同じ候補者が両方に立候補する「重複立候補」が認められている。 | 2. 解散がなく任期が満了するごとに、全議員の半数を一斉に選び直す。 | 3. 人口に比例して配分された議席を、各都道府県の代表として選出する性質が強い。 | 4. 有権者が個人名を書いて投票した場合、その票は候補者個人の得票になると同時に政党の得票にもなる。 |
|---|------------------------------------|--|--|

問11 衆議院議員総選挙などにおいて、各選挙区の議員1人あたりの有権者数が異なることで、1票の持つ影響力に差が生じてしまう問題を「一票の格差」といいます。この問題は、日本国憲法第14条が保障しているどのような権利に反するとして争われているか、正しいものを選んでください。 (2017年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------|----------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 勤労者が団結して行動することを認める労働基本権 | 2. 正当な理由なく身体を拘束されないとする身体自由 | 3. 抑留や拘禁を受けた者が国に補償を求めることができる刑事補償の請求権 | 4. すべての国民が人種、信条、性別などにより差別されないとする法の下の平等 |
|----------------------------|----------------------------|--------------------------------------|--|

問12 選挙の四大原則のうち「普通選挙」の内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 人種、宗教、性別、財産などによって、参政権を制限されないこと | 2. 一人一票の原則に基づき、票の重さをすべて等しく扱うこと | 3. 誰が誰に投票したかを他人が知ることができないようにすること | 4. 有権者が、間に他の者を通さずに自らの意思で代表者を選ぶこと |
|-----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 各政党の得票数を、1、2、3といった自然数で順に割り、その結果得られた「商」の大きい順に議席を割り当てる。	比例代表制において、各政党の得票数に応じた議席配分を決定する仕組みの一つです。各政党の得票数を1、2、3、4……と自然数で割っていき、算出された「商（割り算の答え）」を全政党で比較して、数値の大きい順に定数に達するまで議席を振り分けていきます。これにより、得票数に比較的忠実な議席配分が可能になります。
問2	答え 2 人種、信条、性別、社会的身分、財産などによって差別されず、全ての有権者の投票価値を平等に扱うべきだという原則	「一票の格差」は、一人一票という形式的な平等だけでなく、その一票が議席に反映される力（実質的な価値）も平等であるべきだという「平等選挙」の考え方に反するものです。これに対し、財産などの制限を設けないのは「普通選挙」、投票内容を秘密にするのは「秘密選挙」、直接選ぶのは「直接選挙」の原則です。
問3	答え 3 選挙区ごとの議員一人あたりの有権者数に差があり、一票が持つ影響力に不平等が生じること	平等選挙の原則は、単に全員が1票を投じるだけでなく、その1票の価値（重み）が等しいことを求めています。人口密度の高い都市部と低い地方の間で、議員一人を選出するために必要な得票数に大きな差がある状態は、憲法が保障する平等権に反する可能性があるとして、国会議員の定数は正などが議論されています。
問4	答え 4 選挙区Aの一票の価値は、選挙区Bに比べて2倍の重みを持つ。	議員1人あたりの有権者数が少ないほど、一票が当選に及ぼす割合が高くなるため、その価値は「重い」と表現されます。このケースでは、選挙区Aは10万人に1人の代表、選挙区Bは20万人に1人の代表を選ぶことになるため、Aの一票はBの一票の2倍の価値（影響力）を持つこととなります。有権者が多いほど一票が薄まり、価値が軽くなる点に注意が必要です。
問5	答え 1 比例代表制は政党の得票率に応じて議席を配分するため、小選挙区制に比べて多様な意見を反映しやすく、死票を減らすことができる。	比例代表制は、個人ではなく政党に対して投票を行い、その得票率に応じて議席を分ける仕組みです。これにより、小選挙区制では当選に届かないような少数派を支持する有権者の票も議席に結びつきやすくなり、社会の多様な意見を議会に反映させることができます。この特徴は、当選者以外の票がすべて無効になる小選挙区制の「死票が多い」という短所を補うものです。
問6	答え 2 野党	政権の外にある立場から、政府の活動を厳しくチェックし、国民の多様な意見を政治に反映させる役割を担っている。また、次の選挙で勝利して政権を交代させることを目指し、独自の対案を提示することもある。
問7	答え 4 参議院には解散がなく、議員の任期が6年で、3年ごとに定数の半分の改選する仕組みとなっているため	参議院議員の任期は6年と定められており、衆議院のような「解散」がありません。また、議員全員が一度に入れ替わるのではなく、3年ごとに定数の半分を入れ替える「半数改選」という仕組みをとっているため、3年ごとに必ず定期的に選挙が実施されます。これに対し、衆議院は任期が4年ですが、途中で解散が行われることが多いため、選挙の間隔が不規則になります。
問8	答え 3 当選者以外の候補者に投じられた票は議席に結びつかない「死票」となり、その割合が他の制度に比べて多くなる。	小選挙区制では、1位の候補者1人だけが当選するため、それ以外の候補者に投じられたすべての票は議席に反映されません。これを「死票」と呼びます。比例代表制などと比較して、多くの票が切り捨てられることになるため、得票率と実際の議席数の割合に大きな差が生じ、少数派の意見が政治に反映されにくいというデメリットがあります。
問9	答え 2 一票の格差	選挙区間の人口差によって、1票が持つ影響力に差が出てしまうことを指します。日本国憲法第14条が定める「法の下での平等」に反する可能性があるとして、国政選挙のたびに裁判で争点となっています。
問10	答え 4 有権者が個人名を書いて投票した場合、その票は候補者個人の得票になると同時に政党の得票にもなる。	参議院の比例代表制では、候補者名での投票がその候補者が属する政党の得票としてカウントされ、議席配分の基礎となります。衆議院の比例代表制では政党名のみで投票するため、このような仕組みはありません。なお、重複立候補は衆議院のみの制度であり、参議院では認められていません。また、参議院は3年ごとに半数が改選されますが、これは比例代表制に限った話ではなく、選挙制度全体の特徴です。
問11	答え 4 すべての国民が人種、信条、性別などにより差別されないとする法の下での平等	日本国憲法第14条は「法の下での平等」を規定しており、人種や信条、社会的身分などによって政治的、経済的、社会的関係において差別されないことを保障しています。選挙区によって1票の価値が大きく異なることは、主権者である国民が政治に参加する権利において不平等が生じていることを意味するため、この平等権の観点から違憲（憲法違反）ではないかという議論がなされています。
問12	答え 1 人種、宗教、性別、財産などによって、参政権を制限されないこと	普通選挙は、選挙権を持つための「資格」に関する原則です。歴史的には、高額な納税を条件とする「制限選挙」が行われていた時期がありましたが、現在は一定の年齢に達したすべての国民に平等に選挙権が与えられます。他の選択肢である票の重さに関するものは「平等選挙」、投票の匿名性に関するものは「秘密選挙」、選出方法に関するものは「直接選挙」に該当します。